

■-----
マレーシア科学アカデミー（ASM）より、Global R&D Leaders and CEOs Forum
2015 開催のお知らせ（ご案内）
-----■

日本学術会議が ICSU（国際科学会議）や SCA（アジア学術会議）でおつきあいのあ
るマレーシア科学アカデミー（Academy of Sciences Malaysia, ASM）では、本年
8月5日～6日、サラワク州クチン（Kuching, Sarawak, Malaysia）において、
「R&Dに魂を入れる」“Injecting Soul into R&D”をテーマとして、グローバル
R&D リーダーズ、CEO フォーラム 2015 を開催します。

本フォーラムは研究開発（R&D）活動に関し、単純に利益を目的とするだけで
なく、人類が直面している様々な課題に対する解決策を提示する方向性をもっと
打ち出すべきであるとの考えの下、研究開発における魂の探究、持続可能な金融
・影響力を持つ投資、価値を基盤とした解決策の協働生産、技術の共有、社会イ
ノベーション・起業精神の5つのテーマでフォーラムを開催することとしており
ます。

本フォーラムの主な内容は原文では以下のとおりです。

The theme for this Forum is “Injecting Soul into R&D”. The theme is
premised upon the novel idea that it is time we move R&D beyond the
pressures of commercialisation and business. Thus, we would like to
initiate a movement to pursue R&D not just to cater to the usual
objective of just wealth creation but more to develop and find
solutions that resolve much of humankind’s vast challenges.
The identified action areas that underline the theme of the Forum
are as follows:

- 1) Finding the Soul in R&D
- 2) Sustainable Financing & Impact Investing
- 3) Co-producing Values-based Solutions
- 4) Technology Sharing
- 5) Social Innovation & Entrepreneurship

※本フォーラムの詳細に関しては、以下をご参照ください。

Web サイト

<http://krs.bz/scj/c?c=228&m=22945&v=5b76c177>

Academy of Sciences Malaysia (ASM:マレーシア科学アカデミー) HP

www.akademisains.gov.my

平成 27 年度共同主催国際会議「第 7 回国際新興・再興豚病学会」の開催について

会 期：平成 27 年 6 月 21 日（日）～6 月 24 日（水）[4 日間]

場 所：国立京都国際会館（京都府京都市）

日本学術会議と第 7 回国際新興・再興豚病学会組織委員会が共同主催する「第 7 回国際新興・再興豚病学会」が、6 月 21 日（日）より、国立京都国際会館で開催されます。

本会議では、「世界の新興・再興豚病の制御に向けて：アジアからの発信」をメインテーマに、世界中で猛威を振るう豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）、豚サーコウイルス 2 型、豚インフルエンザをはじめとする約 30 もの豚病について研究発表と討論が行われることとなっており、その研究成果は、世界の養豚産業の発展と今後の豚病研究の進展に大きく貢献するものと期待されています。本会議には 54 カ国・地域から約 800 名の参加が見込まれています。

また、一般市民を対象とした市民公開講座として、6 月 21 日（日）に「食の安全・安心～より安全な豚肉の生産を求めて～」が開催されることとなっております。関係者の皆様に周知いただくとともに、是非、御参加いただけますようお願いいたします。

第 7 回国際新興・再興豚病学会 市民公開講座

「食の安全・安心～より安全な豚肉の生産を求めて～」

日 時：平成 27 年 6 月 21 日（日）13:15～14:15

会 場：国立京都国際会館 大会議場

参加費：無料

※内容等の詳細は以下のホームページをご参照ください。

○国際会議公式ホームページ（<http://krs.bz/scj/c?c=232&m=22945&v=0006d20a>）

○市民公開講座案内（<http://krs.bz/scj/c?c=233&m=22945&v=a58d4204>）

【問合せ先】 日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）付国際会議担当
（Tel : 03-3403-5731、Mail : i254@scj.go.jp）

■-----
マハティール科学賞 2015 について（ご案内）

■-----

マハティール科学賞財団（Mahathir Science Award Foundation: MSAF）では、

- (1) 熱帯向け医薬品
- (2) 熱帯地方の農業
- (3) 熱帯における建築・工学
- (4) 熱帯の天然資源

の 4 つの分野に関し、熱帯地域が抱える問題に対する科学・技術での解決策・イノベーションへの顕著な業績のある

- (イ) 科学者
- (ロ) 3 名までの科学者グループ
- (ハ) 研究機関・組織

に対して、マハティール賞を授与してきました。

受賞者 1 名（グループ又は機関）には 10 万ドルの賞金、メダル、表彰状が授与されます。

これまで、日本からの受賞者・グループ・団体はございません。

マハティール科学賞 2015 への候補者推薦は現在募集受付中ですが、間もなく締切を迎えます（6 月 30 日までの郵送で、当日消印有効）。

この度、同財団から再度のお知らせメールが届きましたため、今回は日学ニュースメールの形でご案内申し上げます。

会員・連携会員の皆様が直接ご推薦できる賞ですので、同賞にふさわしいと考え

られる研究者がいらっしゃいましたら、ご推薦をお願いします。

同賞への推薦要件は、特にございませんが、自薦は不可とのことです。

必要書類（推薦フォーム、候補者の CV、推薦状等）など、詳しくは、下記サイト
をご覧くださいいただけます。

マハティール科学賞財団ウェブサイト：
<http://krs.bz/scj/c?c=234&m=22945&v=6bddbeac>

同賞 2015 募集要領：

<http://krs.bz/scj/c?c=235&m=22945&v=ce562ea2>

本件への問い合わせ先：Datin Soheir Khatib

メールアドレス：soheir.khatib@msa-foundation.org

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らってください。

発行：日本学術会議事務局 <http://krs.bz/scj/c?c=227&m=22945&v=b92dae68>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34